

(事後評価)

# 水産基盤整備事業

## 完了後の評価(事後評価)結果準備書説明資料

モトイネツプ

## 元稲府地区直轄特定漁港漁場整備事業

令和7年度  
北海道開発局

# 目 次

1. 地区の概要	▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	3
2. 事業概要	▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	5
3. 効果等の把握	▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	9
4. 総合評価	▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪ ▪	17

# 1.地区の概要

元稲府漁港は、北海道オホーツク海中部に位置する第4種漁港(昭和26年6月29日指定)です。  
本漁港は、ホタテガイ桁引き網漁業を主体とした水産物の国内外への供給拠点であるとともに、周辺海域で操業する漁船の避難拠点として重要な役割を担っています。

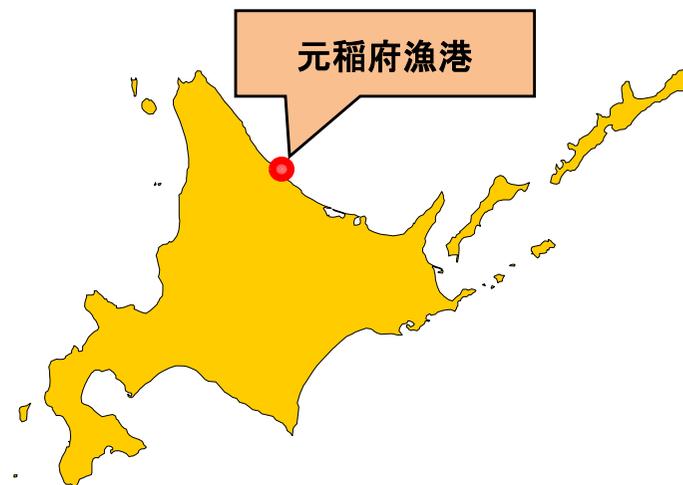
元稲府地区



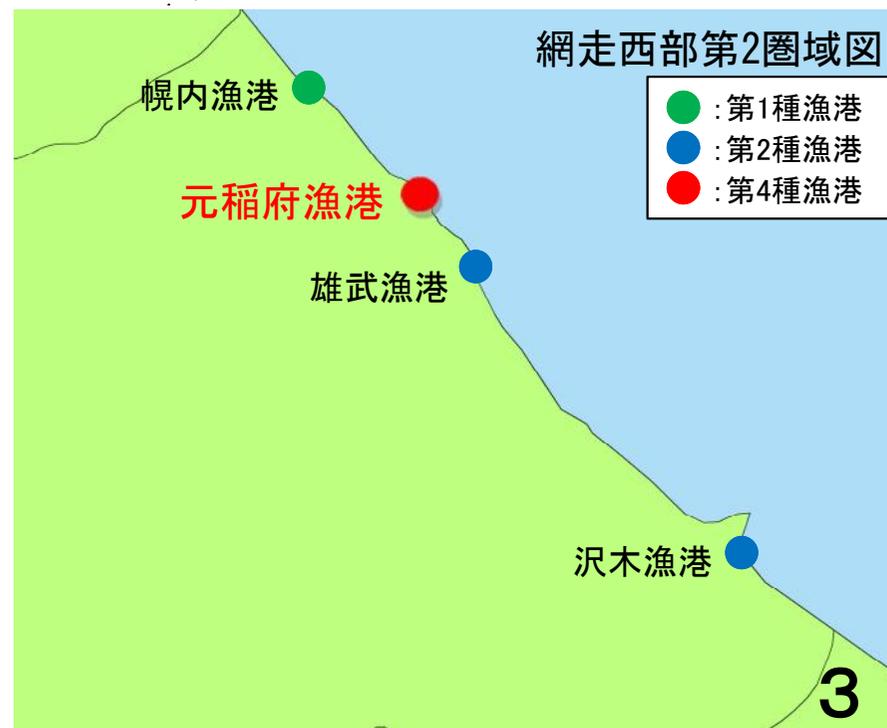
ホタテガイ桁引き網船  
陸揚げ状況



サケ定置網船  
陸揚げ状況



網走西部第2圏域図



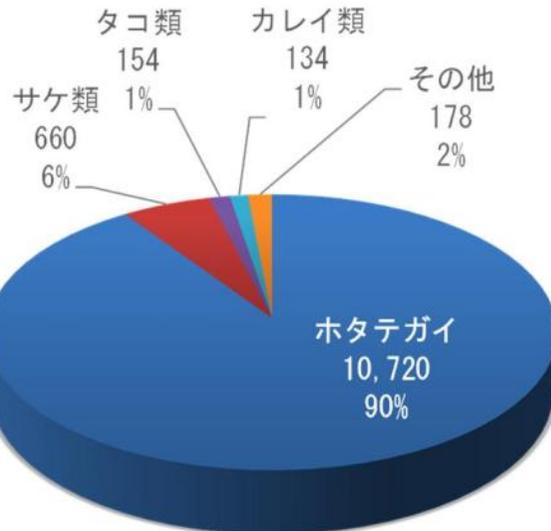
# 漁港の港勢等

元稲府漁港の近年の陸揚量は約1万トン、陸揚金額は20億円前後で推移しています。魚種別ではホタテガイ、サケ類が陸揚量全体の9割以上を占めており、陸揚金額においてもホタテガイ、サケ類が約9割を占めています。

属地陸揚量及び陸揚金額の推移

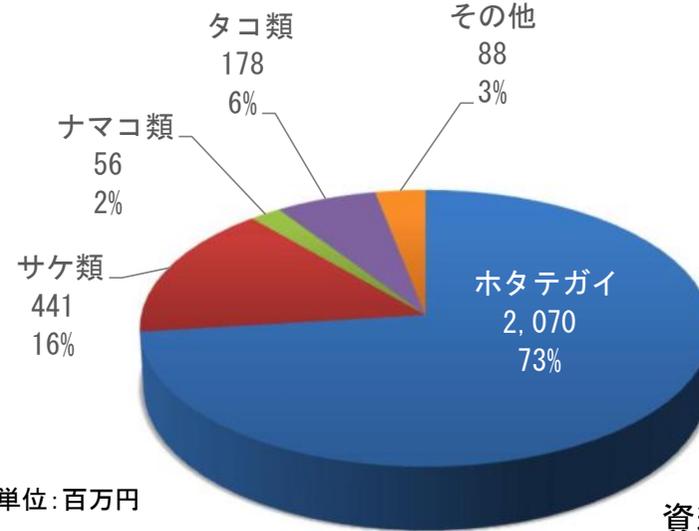


〈元稲府漁港魚種別陸揚量 R5年:1.1万t〉



単位:トン

〈元稲府漁港魚種別陸揚金額 R5年:2,833百万円〉



単位:百万円

資料:港勢調査

## 2.事業概要

### (1)事業の目的

元稲府漁港が抱える課題を解消するため、下記の対策を実施しました。

事業費 : 24.7億円  
事業期間 : 平成24年度～令和元年度

1)越波対策

2)衛生管理対策(屋根施設等)

3)漁業活動の安全性向上・効率化  
(岸壁・道路・用地整備等)

①北防波堤

④ -3.5m岸壁(改良)

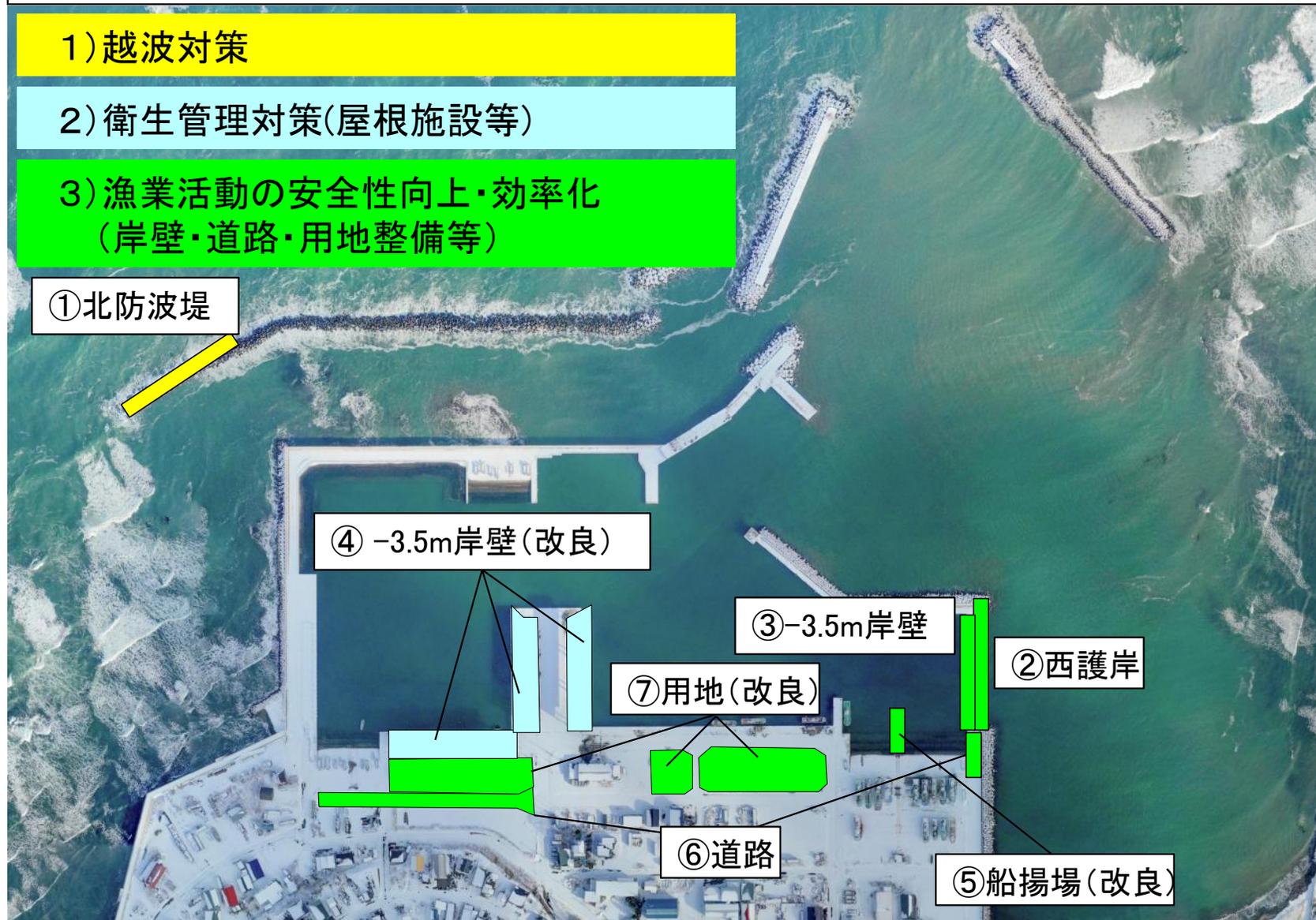
③ -3.5m岸壁

②西護岸

⑦用地(改良)

⑥道路

⑤船揚場(改良)



## 1) 越波対策

荒天時に護岸から越波が生じることにより、漁船の係留及び船揚場へのアクセスに支障が生じていました。このため、防波堤の整備により、護岸からの越波を軽減し、漁業活動の安全性向上を図ることとしました。



## 2) 衛生管理対策(屋根施設等)

ホタテガイの陸揚は野天で実施しており、直射日光や鳥糞、雨、異物混入等による水産物の品質低下が課題となっていました。このため、屋根付き岸壁等の整備により、衛生管理体制を構築することとしました。



### 3) 漁業活動の安全性向上・効率化（岸壁・道路・用地整備等）

岸壁の不足やアクセス道路及び用地の防塵処理の未整備により、非効率な作業を余儀なくされており、漁業活動に支障が生じていました。このため、岸壁や道路及び用地の防塵処理の整備により、漁業活動の安全性向上及び効率化を図ることとしました。



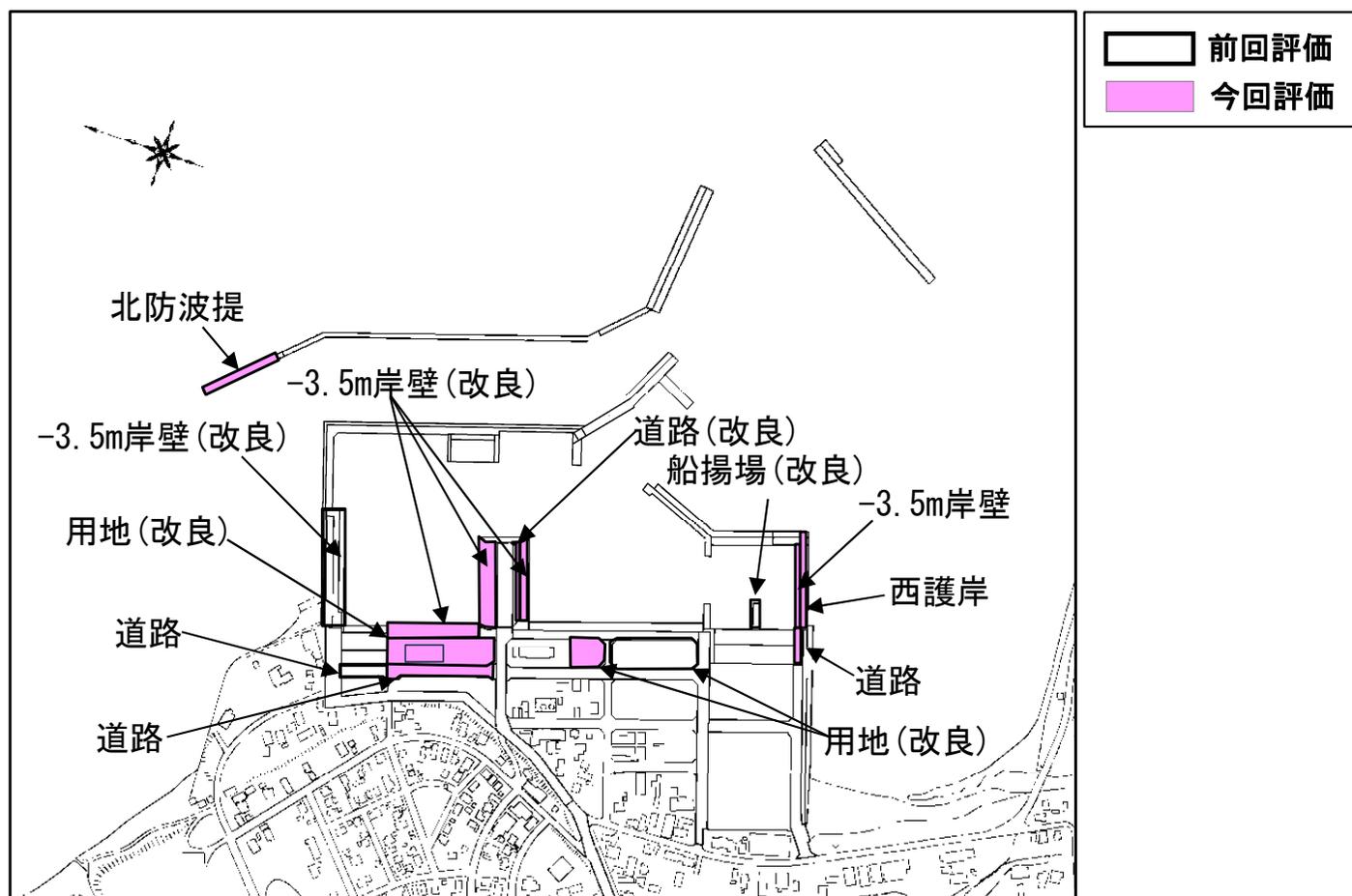
# 3.効果等の把握

## (1)費用対効果分析の算出基礎となった要因変化

### 【計画事業費・事業期間の変更】

	前回評価(H23事前評価)	今回評価(完了後の評価)	変更内容
事業費	21.0億円	24.7億円	3.7億円増
事業期間	平成24年度～平成33年度	平成24年度～令和元年度	2年短縮

### 【事業箇所】

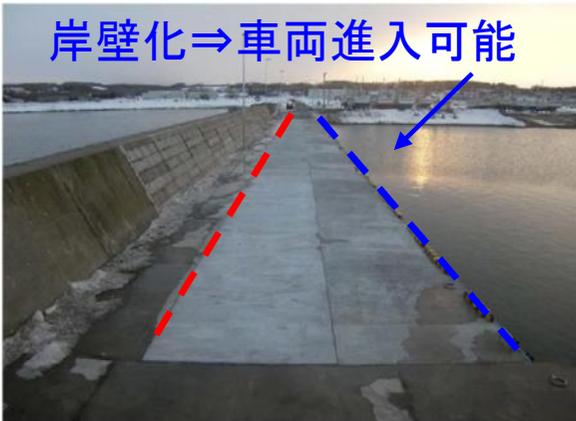


## (2) 事業効果の発現状況

### 1) 定量的な効果

#### 1. 水産物生産コストの削減効果事例

岸壁や背後の用地、道路整備等により、準備や出荷に要する時間が低減され、漁業活動の効率化が図られました。

整備前	整備後
 <p data-bbox="445 818 663 858">狭隘な通行幅</p>	 <p data-bbox="1440 467 1912 512">岸壁化⇒車両進入可能</p>
 <p data-bbox="920 616 1294 703">準備作業時間の削減 (40分/日)</p>	 <p data-bbox="1554 1142 1912 1241">車両転回スペース 確保</p>
 <p data-bbox="288 1265 819 1305">岸壁背後の車両転回スペース不足</p>	 <p data-bbox="920 1070 1294 1158">出荷作業時間の削減 (30分/日)</p>

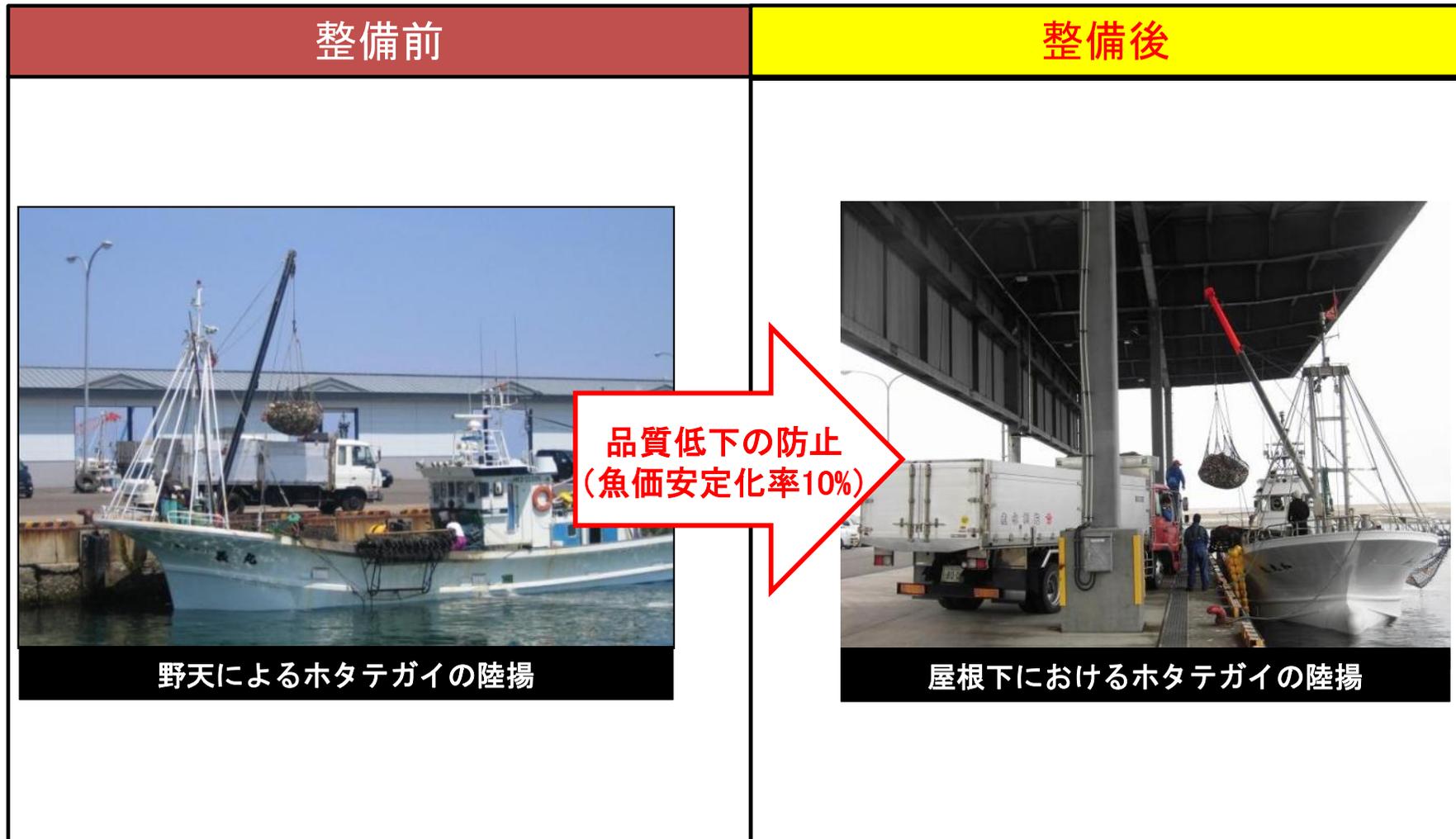
#### ■ 利用者の声（漁港利用者）

- ・これまでは狭いスペースで慎重な作業が必要でしたが、十分な幅を確保していただいたので、作業効率が格段に向上しました。
- ・道路整備によりスムーズな出荷動線が確保でき、水産物の鮮度向上や輸送の安全性が向上したと実感しています。

水産物生産コスト削減による効果：44百万円

## 2. 漁獲物付加価値化の効果事例

屋根付き岸壁等の整備により、水産物への異物混入や直射日光を防ぐことで、品質低下が防止されました。



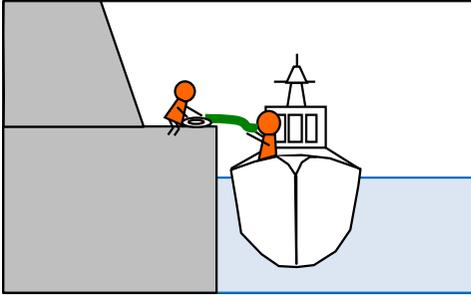
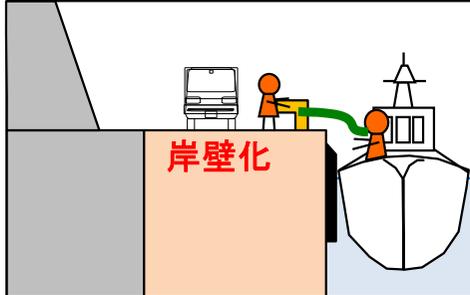
### ■利用者の声（漁港利用者）

・屋根整備により、夏場の日射や降雨の心配が無くなったほか、冬場の厳しい作業が軽減され、大変助かっています。

漁獲物付加価値化による効果:146百万円

### 3. 漁業就業者の労働環境改善の効果事例

岸壁の整備により、海中転落の危険性や人力作業が無くなることで、漁業就業者の労働環境が改善されました。

整備前	整備後
 <p data-bbox="302 861 952 901">外郭施設への休憩係留 (海中転落の懸念)</p>	 <p data-bbox="1265 861 1948 901">係留施設の整備 (海中転落の危険性を解消)</p>
 <p data-bbox="369 1244 862 1300">・狭い防波堤上の移動を伴う人力による漁具運搬 ・係留作業スペースの不足</p>	 <p data-bbox="1579 1061 1691 1093">岸壁化</p> <p data-bbox="1422 1236 1758 1292">・車両による漁具運搬 ・十分な係留作業スペースを確保</p>

#### ■ 利用者の声 (漁港利用者)

・岸壁を整備することで、利用漁船を係留する際の安全が確保されました。

漁業就業者の労働環境改善の効果: 15百万円

## 2) 定性的な効果

### ■ 衛生管理によるホタテガイ輸出に向けた品質管理体制の構築

漁港での漁業活動の効率化と衛生管理の推進により、雄武町全体で漁獲物の衛生管理体制強化への意識が高まりました。これに伴い、漁港背後地にはHACCP認証取得を目指す加工場が整備されるなど、ホタテガイ輸出に必要な品質管理体制の構築に寄与しました。

### ■ 衛生管理に伴うサケ等の地域ブランド化推進

漁港での衛生管理体制の強化は、国内外への流通促進を目的とした「雄武ブランド」のブランド力向上に貢献しています。衛生管理の徹底により、他地域との差別化が図られ、消費者に対して「雄武ブランド」製品の安全性と信頼性を示すことができ、地域製品の付加価値向上に繋がっています。



雄武毛ガニ



雄武ブランドサケ 雄宝(ゆうほう)



サケいくら醤油漬け製品

雄武漁業協同組合HP

### (3) 事業により整備された施設の管理状況

本事業により整備された施設は、漁港管理者である北海道に管理委託を行い、漁港の維持、保全、運営が適正に行われています。

### (4) 事業実施による環境の変化

本事業により、防波堤背後に新たな藻場が造成されることで、二酸化炭素の固定効果などの環境保全効果が見込まれます。

### (5) 社会経済情勢の変化

雄武町全体や漁港背後地区人口は減少傾向にあるものの、組合員数は安定的に推移しており、本事業にて整備した施設を活用した衛生管理の推進により、更なる収益の安定化が見込まれます。

### (6) 今後の課題

今後は、港口及び航路部の静穏度対策等を実施しながら、施設の機能保全等を適切に行っていく必要があります。

## (7) 事業の投資効果

①条件 基準年度:令和7年度 供用期間:50年

②費用便益比の算定

### 総費用(単純合計)

整備施設	数量	事業費 (億円)
①北防波堤	100.0 m	2.9
②西護岸	102.0 m	0.1
③-3.5m岸壁	94.0 m	1.9
④-3.5m岸壁(改良)	190.7m	16.6
⑤船揚場(改良)	一式	0.2
⑥道路	217.0m	1.4
⑦用地(改良)	8,800m <sup>2</sup>	1.5
合計		24.7

### 総便益(単純合計)

便益内容	便益額 (億円)
水産物生産コストの削減効果	22.3
漁獲可能資源の維持・培養効果	2.4
漁獲物付加価値化の効果	73.2
漁業就業者の労働環境改善効果	7.5
合計	105.4

### 総費用(現在価値化後)

総費用(C)	53.7億円
--------	--------

### 総便益(現在価値化後)

総便益(B)	64.8億円
--------	--------

算定結果

費用便益比 (CBR)	$B/C = \frac{\text{便益の現在価値(B)}}{\text{費用の現在価値(C)}} = \frac{64.8}{53.7} = 1.21$
----------------	--

《参考》比較結果(社会的割引率)

	社会的割引率1%	社会的割引率2%
費用便益比(B/C)	2.32	1.83

### ③評価結果

		前回評価 (H23事前評価)	今回評価 (R7事後評価)	備考
事業費 (億円)		21.0	24.7	維持管理費除く
整備期間		平成24年度～ 平成33年度	平成24年度～ 令和元年度	
年間便益 算定の根拠 データ	水産物生産コスト の削減効果	34隻	21隻	対象漁船隻数の減
	漁獲可能資源の 維持培養効果	19百万円	13百万円	対象魚種(コンブ・ウニ)の陸揚金額の減
	漁獲物付加価値化 の効果	532百万円	1,040百万円	対象魚種(ホタテガイ)の陸揚金額の増
	労働環境改善効果	19隻	16隻	対象漁船隻数の減
総費用C(現在価値化後) (億円)		17.8	53.7	
総便益B(現在価値化後) (億円)		29.0	64.8	
費用便益比 (B/C)		1.63	1.21	

## 4.総合評価

本事業では、荒天時の越波対策における外郭施設、水産物の品質・鮮度保持を図るための屋根付き岸壁、漁業活動の効率化・安全性向上を図るための係留施設等の整備を行いました。

貨幣価値化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、費用便益比は1.0を超えており、経済効果についても確認されています。

また、貨幣価値化が困難な効果についても、衛生管理施設を活用した品質管理体制の構築及び地域ブランド化推進による付加価値向上が確認されています。

よって、今後の事後評価及び改善措置の必要性は無いと考えています。

目的としている事業の効果が発現しており、費用対効果分析等の投資効果も確保されていることから、本案を完了後の評価結果の案としてお諮りいたします。